

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 業務名 | 徳島小松島港整備効果検討業務 |
| 2 所属事務所 | 小松島港湾・空港整備事務所 |
| 3 方式 | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日または選定通知日 | 令和7年7月9日 |
| 5 公示日 | 令和7年6月16日 |
| 6 特定通知日 | 令和7年8月22日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
株式会社エコー	×	技術提案書を特定するための評価基準に基づき評価を行った結果、他社が優位であると判断したため。
徳島小松島港整備効果検討業務 沿岸技術研究センター・八千代エンジニアリング・日本港湾コンサルタント設計共同体	○	

プロポーザル評価表

1. 件名 徳島小松島港整備効果検討業務
2. 所属事務所 小松島港湾・空港整備事務所
3. 技術提案書の特定通知日 令和7年8月22日

業 者 名		技術評価点の内訳				技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 資格及び実績等	配置予定技術者の 成績及び表彰	特定テーマ			
				特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	20	30	170		220	
株式会社エコー		18	18	121		157	
徳島小松島港整備効果検討業務 沿岸技術研究センター・八千代エンジニアリング・日本港湾 コンサルタント設計共同体		18	18	149		185	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- 1 業務名

徳島小松島港整備効果検討業務
- 2 所属事務所

小松島港湾・空港整備事務所
- 3 方式

簡易公募型プロポーザル方式
- 4 公示日

令和7年6月16日
- 5 選定通知日

令和7年7月9日

参加表明書提出者	選定の有無	選定されなかった理由
株式会社エコー	○	
徳島小松島港整備効果検討業務 沿岸技術研究センター・八千代エ ンジニアリング・日本港湾コンサ ルタント設計共同体	○	

【令和7年度 簡易公募型プロポーザル方式業者選定資料】

件名	徳島小松島港整備効果検討業務			ランク：建設コンサルタント等 A等級	技術者の資格：・技術士(総合技術監理部門(建設)又は建設部門) ・博士(業務に該当する分野) ・APECエンジニア(業務に該当する分野) ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者
業務概要・数量	本業務は、徳島小松島港(徳島港区)の港湾施設および海岸保全施設において、南海トラフを震源域とする地震・津波に対する効率的・効果的な整備手法等を検討するものである。			契約形態：簡易公募型プロポーザル方式	・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者
	・計画準備	1式		企業の同種業務実績：海岸保全施設における水門の基本設計(予備設計、概略設計含む)を実施した業務	・海洋・港湾構造物設計士
	・前提条件等の整理	1式		企業の類似業務実績：設定しない	・RCCM(港湾及び空港部門又は河川、砂防及び海岸・海洋部門)又は同等の
	・効率的・効果的な整備手法等の検討	1式			能力を有する者(技術士部門と同様の部門に限る。)。但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者
	・有識者の意見聴取	1式			・発注者が上記と同等であると認めた者
	・協議・報告	1式			
	・成果物	1式			
		業務区分	業務の等級	発注形態	技術者の同種業務実績：企業と同じ
		建設コンサルタント等	A	単体 設計共同体	技術者の類似業務実績：企業と同じ
	技術提案書のヒアリング実施日	見積予定日	履行期間		
	令和7年8月6日～7日	令和7年9月5日	令和8年3月13日		

[illegible]